

卷之三

石城氏政部會では 明日候補推薦の總會

小松氏の承諾で三名の擁立
湯本町の不滿で一波瀾

湯本町の不満で一 波亂か

平町同郷クラブに臨時總會を開催し午前十時から幹部會午後一時から總會に移り縣會議員候補者の推薦を行ふ筈であるが既に幹部の間に決定せる候補者は萩原義雄、草野三郎兩縣議の再選及び郡南勿來町から小松章氏を推す三名で小松氏には近親を擧げての出馬反対あるを傳へられたるも最近漸く快諾を得たので總會に附し右の同意を求むる模様で専横あるが黨員の中に幹部の專横を不平するものあることは事

比佐後援會にヒビ

残る幹部の連袂辭職

に對する民政部部會幹部の處置に强硬な不平を放ちつゝあるは別項所報の如くであるが同幹部に於ける今回の候補内定には右後援會長川崎善彌氏その他同會幹部二、三が内談に加はつて居り湯本、植田、勿來の三町會議に際しても後援會幹部少數の専斷を以て會の總意に諸らす之れに同意せざるものであるとなして殘る幹部の憤慨が遂に連袂辭職を若

▲牛開票區乾選舉長
此の如くである

五日告示當日に於ける本郡の有權者數は合計四万九百十八人であるが町村別に見 ば	泉八〇三 渡邊四一八 植 田一一七一 山田六七三 鈴六九六 初來一六二七上 遠野九三〇 入遠野八五五 川部七六六 田人組合一〇 七〇 平四一二二 飯野六 六〇 高久五五〇 夏井五	二五〇 鹿島二九二 瀬二二六〇 玉川四 磐崎一二〇五 湯
	八四 內鄉四七三五 二三四六 赤井一三 永戸筭輪七八一三 八八四 神谷七〇〇 九三一 大浦八七〇 一四七二 大野七九	二五〇 鹿島二九二 瀬二二六〇 玉川四 磐崎一二〇五 湯
	前六三五 窪六三六 小川九〇 以	二五〇 鹿島二九二 瀬二二六〇 玉川四 磐崎一二〇五 湯
		二五〇 鹿島二九二 瀬二二六〇 玉川四 磐崎一二〇五 湯
		二五〇 鹿島二九二 瀬二二六〇 玉川四 磐崎一二〇五 湯

定期一ヶ月二十五
郵便十五段一部
廣告料一行四十
埠所指定貳拾袋
發行處總社印刷人
牛 谷 政
發行所
福島縣平町大町二
新いわき新潟

サラブレットは元々馬の名前で、現在では競馬の目的としてある馬の育成したる馬のことである。サラブレットとは元々馬の名前で、現在では競馬の目的としてある馬の育成したる馬のことである。

難所御齊所崎 改修工事竣成近上 第三次の大改修を目論

近火御見舞御禮
昨日近火に際しては早速御馳付御
舞賜はり難有御禮申上候
拜趨御禮申上べきの處混雜中御尊名
伺ひ漏れも可有之乍略儀以紙上御禮
申上候

正内關

有之以繼一御祚申一傳

て鎮火致候段深く御禮申上候
一々拜趨御禮申上べき筈の處混雜中
御伺ひ洩も可有之以紙上御禮申上候
平町二丁目 西村屋藥鋪 鈴木堅助
昨日近火の際は早速御馳付消火に御
盡力被下御蔭様にて大事に至らず皆
火仕り難有御禮申上候
一々拜趨御禮可申述の處御尊名洩
之有手各儀以氏上御禮申上候

管本米穀店

近火御見舞御

にて餉少致候事深く御神申上候幸ひに類焼も無之候
免かれ從前の通り營業に少しの支障も無之候
間御安心可被下候、

伊關吳服店

失火御見舞御禮

失火御見舞御禮

昨日午後三時迄業私交共に關係なき來訪者の粗忽に因せる火災の際は早速御かけつけ消防救助に御盡力賜り誠に有難く厚く御禮申上候御蔭を以て拙宅のみにり候事之偏に皆々様の御援助の賜と深く感謝致し居り

實は一々拜趨御禮可申上苦の處何かと混雜に打紛れ紙
を以て御禮芳々深く御詫び申上候。
先は取敢ず失禮の御詫芳々御見舞御禮迄
昭和十年九月五日 平町一丁目 敬具

關影商店平支店

